

報道資料

平成28年8月22日
大崎クールジェン株式会社

酸素吹石炭ガス化複合発電実証事業における 本格的試運転の開始について

当社は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の助成事業として実施している「大崎クールジェンプロジェクト※」の第1段階として、平成29年3月から実施予定の酸素吹石炭ガス化複合発電（酸素吹IGCC）実証試験に向けて、この度、石炭をガス化、クリーンアップした燃料によるガスタービンとガスタービン排熱等を利用した蒸気タービンによる複合発電を行う酸素吹IGCCシステム試運転を本格的に開始しましたので、お知らせします。

今後は、定格出力に至るまで段階的に発電出力を上昇させながら、各設備の運用性や制御性等の確認および調整、ならびにプラント性能や安全性等の検証を行い、平成29年3月に実証試験に移行する予定です。

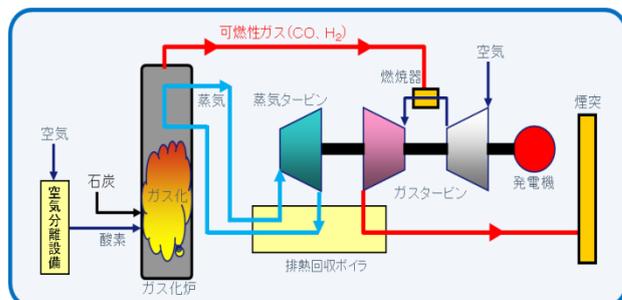
当社は、安全確保と環境保全を最優先に、「大崎クールジェンプロジェクト」の目標達成に向け、着実に試運転を進めてまいります。

【発電所の概要】



- ・名称
酸素吹石炭ガス化複合発電実証試験発電所
- ・出力
16.6万kW
- ・位置
広島県豊田郡大崎上島町中野6208番地1
(中国電力㈱大崎発電所構内)
- ・主要経緯
平成25年3月に建設工事に着工、平成26年6月から機器据付、平成27年1月に所内電源を受電後、機器単体試運転および石炭受入・搬送・ガス化試験等を進めてきた。

【酸素吹IGCCシステムの概要】



- ・酸素吹IGCCは、酸素を用いて石炭を可燃性ガスに転換してガスタービンで燃焼させ、さらにガスタービン排熱等から熱回収して蒸気を発生させて蒸気タービンも回す複合発電方式。(IGCCとは、石炭ガス化複合発電[Integrated Coal Gasification Combined Cycle]の略称。)

※ 石炭ガス化複合発電（IGCC）とCO₂分離・回収を組み合わせた実証試験を行い、革新的低炭素石炭火力発電の実現を目指すもので、酸素吹IGCC実証（第1段階）、CO₂分離・回収型酸素吹IGCC実証（第2段階）、CO₂分離・回収型IGFC実証（第3段階）から構成されます。

【お問い合わせ先】

大崎クールジェン株式会社 総務企画部 総務G TEL：0846-67-5250